

まつるべ
祭時橋被災状況調査隊の派遣について
～6月15日朝 調査隊が出発しています～

平成20年6月14日8時43分の岩手県内陸南部を震源とした「平成20年岩手・宮城内陸地震」は、岩手県奥州市や宮城県栗原市で震度6強を記録するなど、各地に大きな被害をもたらしました。国土交通省は、一般国道342号祭時橋（岩手県一関市）の被災原因究明等のため、6月15日朝に専門家による調査隊を出発させました。

1. 調査隊メンバー（TEC-FORCE先遣班）：5名

国土交通省 1名
（富 樫 企画専門官）
国土技術政策総合研究所 2名
（玉 越 道路構造物管理研究室長 他1名）
土木研究所 2名
（運 上 上席研究員 他1名）

2. 調査内容：

- ・被災状況把握
- ・被災原因究明

3. 一般国道342号「祭時橋」諸元：

- ・橋 長：94.9m
- ・幅 員：9.0m
- ・上部工形式：鋼連続非合成钣桁橋3径間
- ・架設年次：1978年（昭和53年）
- ・管 理 者：岩手県

問い合わせ先

東北地方整備局 TEL：022-225-2171（代）
住所：仙台市青葉区二丁目9-15
電話：022-225-2171（代）

道路部 道路調査官 阿部 悟（内線：4113）